

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ併用化学療法について
	研究目的	2018年に濾胞性リンパ腫に対する新規抗体薬オビヌツズマブ(ガザイバ®)が保険適応となりました。オビヌツズマブを用いることで無増悪生存期間(病気が悪くならず生きている期間)の改善が期待されます。一方で注入時反応や感染症などの有害事象も報告されています。当院でオビヌツズマブの治療を受けた方を対象に、その有効性や安全性を検討することを目的とします。
	研究対象者	当院にて2018年以降、オビヌツズマブ(ガザイバ®)を受けた濾胞性リンパ腫患者さんが対象です。
	研究期間	西暦 2020年3月11日～西暦 2021年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	本橋賢治、酒井リカ
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	当院のみでの研究です。